

「技術士による夏休み理科実験教室」で授業を行いました！

公益社団法人 日本技術士会近畿本部 科学技術支援委員会

今年も大阪府高石市公民館主催による「技術士による夏休み理科実験教室」への出講を当委員会が担当しました。

1. 開催日時

平成30年8月18日（土） 13:00～14:30

2. 開催場所

高石市羽衣公民館 3階 大会議室（所在地：大阪府高石市羽衣 1-11-22）

3. 主催

大阪府高石市公民館

4. 出展テーマと担当講師

テーマ名：生物の標本づくりとかんさつ

担当講師：伊東 潤二 技術士（生物工学部門）



5. 内容

- ・講師が持参した魚の切片（OCTコンパウンド包埋）を仕込んだスライドガラスを生理食塩水→水の順に浸し、洗浄後乾燥した。（OCTコンパウンドの除去）
- ・生物の体が細胞からできており、その細胞には細胞核があり、その中にDNAがあることを解説した。そのうえで、今日やることは、細胞（細胞質成分）および、DNAを色素で染めて観察することであることを説明した。
- ・乾かしたスライドガラスにDNAの染色液であるヘマトキシリンを滴下し、数分放置後洗浄した。
- ・さらに細胞質成分の染色液であるエオジンを滴下し、すぐに洗浄した。
- ・染色作業後のスライドガラスをルーペや顕微鏡で観察し、青紫色に染色されたDNAおよび、赤色に染色された細胞を観察した。
- ・この染色方法が、病理診断等で社会の役に立っていることを解説した。



6. 参加者数

こども 10名

7. 実施状況等

今年は保護者を除く大人の参加はなく、こどもだけでスライドガラスやスポイトを使う実験をしてもらいました。自分の手の脂がコンタミの原因になることなども伝えつつ、丁寧に実験器具を触ってもらうことの大事さもわかってもらえたか、と思います。

8. 会員の皆様へのお願い

講師をしてみたいという方は、近畿本部科学技術支援委員会HP <http://www.ipej-knk.jp/iinkai.html> をご覧の上、是非お知らせください。